

# まこと通信

## 会派代表質問で登壇 合計12項目を質問

質問

高齢者施設で感染者が発生した際の対応策について

**答** 入所者が感染した場合、原則入院。ただし、入院調整などのために入所を継続する場合のマニュアル等を作成するとともに、感染拡大が懸念される施設には、感染症専門の医師や看護師を緊急に派遣する。高齢者施設で働く職員に対する定期的なPCR検査については、来年3月までの間に一人あたり3回を上限に実施することを予定。



質問

災害時の住宅応急修理の円滑化に向けた県の取り組み強化について

**答** 「令和2年7月豪雨」において被災した大牟田市や久留米市の現状を見ると、地元の大工や小規模な工務店へ工事を依頼している被災者が多い。今後、応急修理を円滑に進めるため、地域の身近な建設事業者で構成される団体との協定締結に向けた協議を行っていく。

質問

スマート農業の推進をどう図っていくのか

**答** 農業者の減少や高齢化が進む中、農業振興を図るために、作業を効率化し、収量・品質を向上させることが重要であり、スマート農業は、これらに大きく寄与する。実証実験を進めており、その成果をとりまとめ、普及指導センターを通じ、栽培指導や個々の経営実態に応じた機種の選定などの指導を行いスマート農業の普及拡大を図る。

質問

再生可能エネルギー先進県として今後の取り組みは?

**答** 本庁舎において「再生可能エネルギーの導入状況」など、評価点の基準を満たした事業者の一般競争入札への参加を認めている。教育委員会や公安委員会の所管分についても、対象に加える方向で検討。県有施設の再生可能エネルギー100%化は再生可能エネルギーの導入状況も踏まえながら、今後検討する。

質問

コロナ禍における雇用対策と今後について

**答** 10月の有効求人倍率が1.00倍と本年1月と比較して0.45ポイント低下、新規求人数が前年同月と比較して約2割減少。今後、①企業の雇用維持に向けた取組みの支援②解雇等が生じた場合の再就職支援、その両面から取組みを進める。今後も、福岡労働局等関係機関とも連携しながら、機動的な雇用対策を実施していく。

質問

公立学校の超過勤務の現状及び今後の取組みについて

**答** 県立学校における昨年1年間の教職員の超過勤務は、教諭のみでは、月41.8時間、80時間を超える者は11.5%。コロナ禍により縮小された会議や学校行事等について必要性を精査し、今後の業務改善につなげる。

質問

福岡県立大学の振興について

- これまで要望を受け、エレベーター、空調機等の改修を実施。トイレ改修も今年度実施する。今後については、福岡県公共施設総合管理計画の中で、実施時期を明示する。
- 地域貢献では、小中学生の補充学習に学生を派遣する「土曜の風」事業、「不登校・ひきこもりサポートセンター」の運営など、地域課題の解決に資する活動を支援。さらに、県立西田川高校との協定を締結するなど、積極的に支援する。

第51回

## 弁護士による無料法律相談開催

担当弁護士  
田川市役所前法律事務所  
森竹 卓郎弁護士

開催日程 1月27日(水) 17:00~(1回30分程度・相談は1人1回まで) ご予約連絡先 0947-85-9015  
佐々木まこと事務所にて ※ご希望の方は1月26日(火)までに事務所までご一報下さい

# 補正予算

- ・「新型コロナウイルス感染症対策」「令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策」等に取り組む
- ・厳しい経済状況を踏まえ、県税等を減額するとともに、事業費の減額補正を実施
- ・人事委員会勧告に基づく給与改定を実施

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底

#### ●高齢者施設等に勤務する方にPCR検査を実施

重症化リスクの高い高齢者、障がい者への感染やクラスターの発生を防ぐため、高齢者施設及び障がい者施設の職員に対するPCR検査を実施



**20億340万円 [新規]**

#### ●医療従事者へ慰労金を支給

感染症患者と接する医療従事者等に対する慰労金を増額（支給対象者数の増）

**46億655万円** 6月補正:162億179万4千円

### 情報提供の充実

#### ●障がいのある方への合理的配慮の理解を促進

「マスクにより口の動きが読み取れない・身体的距離を保つのが難しい」など新しい生活様式の中で障がいのある方が困っていることなどを支援



**1,237万3千円 [新規]**

### 事業継続の支援

#### ●中小企業向け制度融資を充実

・「新型コロナウイルス感染症対応資金」の融資枠の拡大に伴い利子補給費を増額

融資上限額：4,000万円、  
融資利率：**1.3%→0%** 予算額：2億4,700万円

・「緊急経済対策資金」に係る来年度（R3～7年度）以降の保証料の補填に必要な費用を基金に積立  
[新規]

融資上限額：1億円、  
保証料率：**0.8%→0%** 予算額：25億700万円



**27億5,400万円**

4月補正:36億7,700万円  
6月補正:25億4,800万円

#### ●介護施設における介護ロボット・ICT導入を支援

・介護サービス事業所が行う介護ロボットの導入やICTによる業務改善を支援



**4億1,761万1千円**

4月補正:2,400万円

## 可決成立 県ワンヘルス推進基本条例 議員提案で策定・可決成立

可決成立

近年、人と動物の共通感染症の流行が各地で発生しており、人と動物の健康を一つと捉え、人、動物、環境の関係者が分野横断的に連携して、その解決に向けて取り組む「ワンヘルス・アプローチ」を具体化するため、福岡県議会の議員提案条例として、「ワンヘルス推進基本条例」を策定しました。



議長へ案を提出した時の様子



私も会議メンバーとして策定に関わりました



### 主な項目

- ①人と動物の共通感染症
- ②食の安全・安心
- ③薬剤耐性菌
- ④地球温暖化
- ⑤生物多様性保全
- ⑥抗菌物質拡散
- ⑦家畜伝染病
- ⑧ペット感染症
- ⑨動物用医薬品の適正使用

※なお、感染症が発生した際、県による調査を「正当な理由なく」拒否した人に過料を科す項目等について、継続検討となりました。

## データで見る田川地域

### 第17回 田川市郡における合計特殊出生率

田川地域の合計特殊出生率（2013年～2017年の平均）が本年7月末に国から公表されました。福岡県の合計特殊出生率は、前回調査に比べ増加しており、かつ、田川地域はすべての地域で県平均を大きく上回っています。

しかし、今年発生した新型コロナウイルス感染症の拡大で、妊娠届出数が減少傾向にあるとの報道がありました。また、まだまだ子育てしながら働くためには多くの課題があり、それらが出生率の低下を招く原因にもなっています。また、晩婚化等によって近年増加している不妊治療などへの公的支援も、拡大していくことが大切です。

子どもを産み、育てたいと願う人たちに、政治はもっと寄り添うべきです。子育て施策の充実のために、私も全力を挙げていきたいと思っています。

2013年～2017年

※県内60市町村中

市町村	合計特殊出生率	県内順位
田川市	1.71	17
香春町	1.73	15
添田町	1.61	37
糸田町	1.94	2
川崎町	1.74	13
大任町	1.71	17
赤村	1.68	25
福智町	1.78	7
福岡県	1.5	
全国	1.43	

# 浄水場新設現場を視察 県も財政支援でバックアップ

11月16日、田川地域広域水道企業団による水道管敷設工事現場を視察しました。

田川市・川崎町・糸田町・福智町は、2019年4月から水道事業を統合しており、浄水場を建設するため、現在大規模な工事が進められています。

現在、国においても、水道事業を市町村で統合していくことを推進しており、福岡県内では、田川地域広域水道企業団が初めての統合となります。これまで、1市3町内に12ヶ所あった浄水場を、2ヶ所に統合するため、現在、白鳥工業団地に浄水場を新設するとともに、本管の敷設工事を順次行っています。

県では、伊良原ダムの良質な水の供給、補助金の確保など様々な支援を行っています。水道は、人の命に欠かせないインフラです。この維持管理も含め、技術者の養成なども継続的にしなくてはなりません。皆さんの飲み水が、安全にご家庭や職場に届くよう、私もしっかり支援していきます。

## 2020年度過疎対策事業 新中学校建設で追加支援

2020年度第2次分過疎対策事業の配分が12月に決定しました。

今回はハード事業が配分され、総額で4億4,730万円が内示されました。そのうち、田川市の新中学校建設事業については、要望額の全額が認められ、その結果、特別枠として3,810万円が追加されました。また、浄化槽設置整備事業や、道路新設改良事業等、ハード事業について幅広く認められました。私も、「過疎地域活性化対策福岡県議員連盟」の一員として、田川市の要望実現に向けて県庁へ陳情活動を続けてきました。

この過疎対策事業は、国からの財政支援が手厚いため、財政状況の厳しい田川市の行政運営に重要な事業です。引き続き、予算確保に向けてしっかりと取り組んでいきます。

### ※過疎対策事業とは

過疎地域自立促進特別措置法に基づき、人口減少率や財政力指数などをもとに、その割合が厳しい自治体を「過疎自治体」に指定して、特別の支援を行います。具体的には過疎対策事業債を自治体が起債し、その70%を普通交付税の基準財政需要額に算入（おおむね70%を国が補填）されます。



水道管敷設工事現場視察の様子

### 過疎対策事業に係る事業一覧(第2次分)

事業名	区分
平成筑豊鉄道支援事業(施設整備分)	地域鉄道
浄化槽設置整備事業費補助金	下水処理施設
道路新設改良事業（青葉中央通り線）	市町村道（交通）
道路新設改良事業（金川小学校3号線）	市町村道（交通）
道路新設改良事業（春日町・松ノ木線）	市町村道（交通）
公園整備事業（丸山公園再整備事業及び公園施設長寿命化事業）	観光・レクリエーション施設
新中学校建設事業	小・中学校校舎・屋体・寄宿舎
医療機器購入事業	診療施設
診療施設整備事業	診療施設
ハード合計 9件	内示額 4億4,730万円

## 安曇野市ワイン特区現地視察 新しい特産品づくりを学ぶ

11月5日、会派管外視察として、長野県安曇野市を訪問しました。

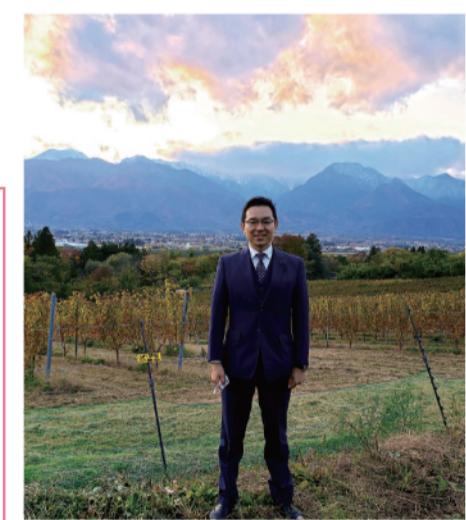
安曇野市では、「ワイン特区」※1を活用して、地域で栽培されたワイン用ブドウを使ったワイナリーの開設に力を入れています。2019年秋から本格的に醸造を始めており、市農業委員との協力で、耕作放棄地（桑畑）を開墾して、ブドウ栽培も行っています。

耕作放棄地対策はもちろん、農業委員や農協など、地域を巻き込んだ取り組みが高く評価されており、今後もブドウ生産面積を増やしていくことでした。

田川地域も、ワイン特区など、特区制度を活用した特産品づくりができるのか、模索したいと思います。

### ※1 ワイン特区とは

(1) 地域の特産物である農産物（ぶどう・リンゴ等）を原料とした果実酒又はリキュールを製造する場合、酒税法の最低製造数量基準（年間6キロリットル）を、果実酒にあっては2キロリットルと、リキュールにあっては1キロリットルとする。(2) 農業者が営む農家民宿や農園レストラン等で、自らが生産した果実を原料として、果実酒を製造する場合、酒税法の最低製造数量基準（年間6キロリットル）を適用しない等、規制が緩和されます。



耕作放棄地を開墾して作られたブドウ畠



県庁1階で行われた6次化商品販売会の様子



生姜の収穫の様子

## 田川地域の農業を応援 自ら生姜も栽培しました

田川地域は、豊かな農地はあるものの、筑後地域に比べて農業の振興にはまだまだ課題のある地域です。

12月には、福岡県庁で行われた「6次化商品販売会」にJAたがわの皆さんと参加し、生姜の佃煮や、黒ニンニクなど、田川地域の豊かな食材をPRしました。また、農業を肌で感じてみることも必要だと思い、今回、生姜を2アール造ってみました。草抜きや「土寄せ」など大変な作業が続きましたが、何とか収穫することができました。

農業は、都会ではできない、地方だからこそできる産業です。また県政において農業は、新品種の開発や、補助金交付など、関わりの深い分野です。

今後も、田川地域の農業振興のため、しっかり頑張っていきます。

## 政務活動報告

### 11.3 平和をあきらめない北九州ネット街頭演説会



小倉駅前で立憲野党の議員が集まる街頭演説会に参加しました。私は、戦争に近づくあらゆることに、正面から抗していく政治家でありたいと思っています。

### 11.15 中国人殉職者慰靈祭



第二次世界大戦において田川市でも 668人の中国人が連れてこられ 27人がお亡くなりになっています。憲法の理念を大切に、反戦平和のため引き続き頑張ります。

### 11.17 県議会スポーツ立県調査特別委員会視察



パラリンピックキャンプ地誘致の取組について、県議会特別委員会の皆様が視察に来られました。寄付により作られた宿舎など、先進的な取組を視察しました。

### 12.6 ドットジェイピー議員インターン交流会



25歳で市議会議員に初当選して以来、延べ 60名の学生を受け入れてきました。政治と若者をつなぐため、引き続き受け入れていきます。

## 佐々木まこと事務所

〒825-0002 田川市伊田4510-6  
tel 0947-85-9015  
fax 0947-85-9007



佐々木まこと



### ホームページ



### LINE@



## 11月活動報告

- 1 田川古代史フォーラム
- 2 県議会政策審議会企画会議（福岡市）
- 3 県議会政策審議会（福岡市）
- 4 県議会文教委員会正副委員長会議（福岡市）
- 5 県議会会広報編集会議（福岡市）
- 6 田川文化連盟第2回芸能発表会
- 7 11・3 平和をあきらめない北九州ネット集会（北九州市）
- 8 県議会会派管外視察（長野県）
- 9 県議会会派管外視察（長野県・富山県）
- 10 県議会会派管外視察（石川県）
- 11 福岡朝鮮歌舞団リボーン講演（直方市）
- 12 第7回里山資本主義フォーラム
- 13 県議会政策審議会企画会議（福岡市）
- 14 県議会政策審議会（福岡市）
- 15 県議会・議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 16 福岡県立大学学長と懇談会
- 17 第20回都道府県議会議員研究交流会
- 18 連合後援会「まこと会」会合
- 19 市内歩道改良視察
- 20 県議会文教委員会管内視察（遠賀町）
- 21 県議会・議員提案政策条例検討会議視察（長崎市）
- 22 中国人殉職者慰靈祭
- 23 田川広域水道企業団工事現場視察 / 佐渡文夫田川広域観光協会名誉会長訪問
- 24 スポーツ立県調査特別委員会管内視察
- 25 県議会政策審議会企画会議（福岡市）
- 26 県議会政策審議会（福岡市）
- 27 産炭地域活性化対策議員連盟管外視察（宮崎県）
- 28 産炭地域活性化対策議員連盟管外視察（熊本県）
- 29 産炭地域活性化対策議員連盟管外視察（熊本県）
- 30 ふくおか教育月刊記念行事（福岡市）
- 31 県議会政策審議会企画会議（福岡市）
- 32 県議会政策審議会（福岡市）
- 33 県議会・議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 34 県議会議会運営委員会（福岡市）
- 35 県議会議会広報紙編集会議（福岡市）
- 36 終日県議会政務活動（福岡市）
- 37 終日まこと通信配布活動
- 38 終日県議会政務活動（福岡市）
- 39 終日市民相談処理

## 12月活動報告

- 1 県議会本会議（福岡市） / まごころ製品販売会
- 2 九州の自立を考える会総会・広域行政セミナー
- 3 県議会政策審議会企画会議（福岡市）
- 4 県議会政策審議会（福岡市）
- 5 県議会政策審議会（福岡市）
- 6 いちご園視察（久留米市）
- 7 議員インターン議員交流会（北九州市）
- 8 県議会本会議（福岡市）
- 9 連合後援会会議
- 10 県議会・議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 11 県議会本会議（福岡市）
- 12 県議会政策審議会企画会議（福岡市）
- 13 県議会・議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 14 県議会本会議（福岡市）
- 15 県議会文教委員会（福岡市）
- 16 県議会・議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 17 県議会・議員提案政策条例検討会議（福岡市）
- 18 県議会本会議（福岡市）
- 19 終日市民相談処理 / 田川地域年末あいさつ回り
- 20 市内餅つき会参加
- 21 市内神社元旦祭参加

## 佐々木まことプロフィール

市立猪位金小・猪位金中・県立東鷹高卒業

2004年 龍谷大学法学部政治学科卒業

2006年 北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)  
社会福祉法人猪位金福祉会入社

2007年 田川市議会議員当選

2011年 田川市議会議員2期目当選

2015年 福岡県議会議員初当選  
(田川市選挙区 定数1名)

2019年 福岡県議会議員2期目当選

所属

県議会文教常任委員会副委員長

県議会子ども子育て調査特別委員会委員

県営住宅管理審議会代表代行

民主県政県議団副幹事長

